

第178回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成24年5月10日(木) 11:00~11:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 7人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)
片山 貴之(副委員長)
青木 敬信
古磯 勝子
片岡 真理
森内 律子
島田 恭子

(2) 放送事業者側出席者 神野 俊彦(代表取締役社長)
佐藤 望(放送部長)
古寺 雄史(放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

4月15日に放送した特別番組「HC 栃木日光アイスボックス～We Are Here～」について、試聴と意見交換を行った。

事業者 2011シーズン、アジアリーグアイスホッケーでプレーオフファイナルまで進出する快挙を見せた「HC 栃木日光アイスボックス」。

数々の困難を乗り越え、アジアの頂点まであと1歩という大躍進を遂げた、アイスボックスの今シーズンを振り返るドキュメンタリー番組です。

番組DJには、アイスボックスの試合会場でアリーナMCを担当している栃木県出身のよしもと芸人、井上マーを起用しました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：アイスホッケーにあまり興味をもっていなかった人でも楽しめる内容だった。
ドラマティックな展開で内容に引き込まれた。会場の歓声が聞こえてきて、感動を覚えた。

委員：躍進を陰で支えてきたチームディレクター日置さんの話はとても興味深く、
もっと深い部分の専門的な内容を聞きたかった。

委員：番組のDJに、井上マーを起用した理由は？

事業者：今年のアイスバックスの躍進を、スタジアムMCとして見続けてきたことから、
チームへの深い想いがある。そういった面を考慮して起用した。

委員：井上さんは、情感のある声だったが、情報としては若干、聞き取りにくかった。

委員：井上さんは、やはり、アナウンスのプロではないためか、随所で、滑舌や発声に
素人っぽさを感じたり、臨場感のあるシーンでの表現に物足りなさを感じたが、
ナレーション部分では、落ち着いた声を出そうと頑張っているのが感じられたり、
チームのファンに近い感覚で、終始、まじめな印象で話していて、とても好感が持てた。

委員：BGMの選曲や、その使い方がよかった。
ナレーション部分での表現力の物足りなさを十分に補っていたと思う。

委員：選手やファン、地元の子供たちの声も盛り込まれており、番組の構成もよかった。

委員：地域に根ざした放送局として、とても適切なテーマを取り上げたと思う。
一過性のものではなく、継続的に地域スポーツをバックアップしていた姿勢が、
実を結んだ番組ではないか。

委員：耳で聞くドキュメンタリーとして、とてもよかった。ラジオのもつ可能性を感じた。

委員：番組を聴いて、改めて、地元のチーム・アイスバックスに興味を持った人も多いのでは？
今まで、アイスバックスの試合を見たことがなかったが、この番組を聞いて、
興味を持った。試合が見たくなったり、県民として、応援していきたいと思った。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を6月7日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 5月27日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし